

令和元年度 地産地消コーディネーター育成研修会 開催案内

～学校等施設給食における地場産物の利用拡大に向けて～

2019年9月

一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
(まちむら交流きこう)

1 開催のねらい

学校等施設給食における地場産農林水産物・食品（以下「地場産物」と表記）の利用は、食育活動、地産地消、食文化の伝承、郷土への理解を深めるなどの取組として、各地で進められています。

鮮度の良い地場産物を食べ、食材の美味しさを知ること、好き嫌いの軽減、食欲の増進、健康に留意した食生活の実現などへ広がり、人々の健全な心身を培うことに繋がっています。

また、地場産物の生産者や生産過程などを知ることは、食べ物や地域産業への関心・感謝の気持ちを深めるとともに、地域全体の連携を築くこととなり、地域の活性化にも貢献しています。

このように、学校等施設給食で地場産物の使用を進めるには、地場産物を利用する給食事業者側と、供給する農林水産関係者側の間において、地場産物の情報の共有や供給量、価格、規格及び品質等の調整が必要であり、これらの間をつなぐ調整組織や調整役の役割が重要となります。

そこで、更なる地場産物の利用拡大に向けて、各地における地産地消の取組を促進するため、調整役の役割を理解し、ノウハウを共有しながら課題解決に役立つスキルを習得することを目的とした研修会を、全国2か所で開催いたします。

※地場産物とは、都道府県の区域において生産された農林水産物及び、その農林水産物を原材料として製造された加工品のことをいう。

2 開催日程・開催地

エリア	テーマ	開催地	開催日程	備考
東日本	給食事業における地産地消の推進 ①	東京都千代田区 千葉県柏市	11月14日(木)～15日(金)	
西日本	給食事業における地産地消の推進 ②	岡山県 岡山市、笠岡市	12月18日(水)～19日(木)	

※全国からご参加可能です。

※詳細内容・申込様式については、ホームページ上でもご案内いたします。

3 参加者

学校等施設給食において、地産地消による地場産物利用の拡大に関わる方なら、どなたでもご参加できます。(想定される参加者：学校給食等の分野において地産地消のコーディネーター役として活動、また今後、コーディネーター役として活動を予定している者、学校給食関係者、生産者、流通関係者、行政関係者など)

4 参加費

参加費は無料ですが、交流会や2日目の現地研修に参加される場合は、実費（交流会会費、給食試食代）を承ります。会場までの交通機関・宿泊等は、参加者ご自身でご手配ください。

令和元年度 地産地消コーディネーター育成研修会【東京・千葉会場】
給食事業における地産地消の推進
～生産者、給食関係者、行政が支え合う地産地消給食の実践～

この研修会では、生産者や行政、食材供給を担う立場から、地産地消給食を進める意義、学校や地域との連携の方法、食数の多い大型共同調理場での地産地消給食の実現、給食で使いやすい食材加工の工夫など、現場での話を中心に事例を紹介します。

1 開催日時

2019年11月14日(木)13:00開会～11月15日(金)15:00頃まで

2 開催場所

- (1) 研修会会場(1日目): エッサム神田1号館2階「多目的ホール」
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2 ※別添地図参照
- (2) 現地視察(2日目): 農産物直売所かしわで、給食納入を担う生産者の畑
〒277-0861 千葉県柏市高田100番地

3 参加定員

- (1) 研修会: 80名
(2) 現地視察: 40名

※学校等施設給食において地産地消による地場産物利用の推進に関わる方なら、どなたでもご参加できます。全国からご参加可能です。

4 参加費

研修会は無料ですが、下記について参加を希望する場合、実費を頂戴いたします。
(全て事前申込制です。参加の有無につきましては、参加申込書にご記入下さい。)

- (1) 参加者交流会 4,200円(研修会会場の近くを予定しています。)
(2) 昼食代 1,540円(農家レストラン「さんち家」での昼食になります。)

5 参加申込方法

別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、事務局までご送付ください。事務局より受付確認メールをお送りします(申込み後、1週間以内)。定員となり次第、受付を終了します。申込み後に、変更や参加の取り消しがある場合は、開催日の1週間前までに必ず事務局までご連絡をお願い致します。【申込締切日: 11月8日(金)】

6 研修内容(予定)

※敬称略・タイトルは仮題

1日目:エッサム神田1号館2階「多目的ホール」

時間	プログラム	内容
12:00~	開場・受付	※会場で受付いたします。
13:00~	開会・挨拶	
13:10	趣旨説明	研修会のねらい・目的
13:20~	講演	「地域が支える地産地消の学校給食」 (公社)全国学校栄養士協議会 会長 長島美保子
14:00~	実践事例①	「地域を元気に、明るい農業を目指して！」 ~千葉県柏市 農産物直売所「かしわで」の取組~ 株式会社 アグリプラス 代表取締役 染谷 茂
15:00~	休憩	
15:15~	実践事例②	「大型共同調理場で実践する地産地消給食の工夫」 ~静岡県 袋井市教育委員会おいしい給食課~ 袋井市教育委員会 おいしい給食課 石塚 浩司 袋井市生産者 土屋 克巳
16:00~	実践事例③	「福祉施設給食への食材納入の挑戦」 株式会社 山際食彩工房 代表 山際 博美
16:30~	講座総括	給食事業における地場産物利用の実践と課題 進行役:食ジャーナリスト 金丸 弘美 他
17:00	研修終了	※2日目参加者オリエンテーション(18:00頃迄)

※終了後、参加者交流会を予定します(希望者のみ・会費制)。

2日目:千葉県柏市内 ※マイクロバスで回ります

時間	プログラム	内容
10:00	柏たなか駅 改札集合	つくばエクスプレス「柏たなか駅」集合 ※秋葉原駅から各駅停車で約40分、片道(現金)720円
10:15~	現地視察①	『給食納入を支える生産者めぐり「農家ツアー」』 10:20~小松菜 → 10:50~チンゲン菜 → 11:20~ネギ → 11:50~カブ ※給食に納入する際に気をつけていること、学校からの要望、 規格、給食納入への思い等を伺います。 ※チンゲン菜、ネギ、カブは、柏市の特産です。
12:30	移動	※途中、「柏の葉キャンパス駅」を経由します。
12:45~	現地視察②	農産物直売所かしわで 店舗見学
13:30~	昼食	農家レストラン「さんち家」 ※肉や魚は使わず、全て新鮮野菜で手作りした料理が並びます。 昼食代は、1400円(税別)・70分食べ放題です。
14:45	終了・移動	つくばエクスプレス「柏たなか駅」で解散

講師・事例紹介**○長島美保子 (公社) 全国学校栄養士協議会 会長**

1969年より島根県学校栄養職員、八雲村学校給食センター、2007年～2012年島根県栄養教諭、松江市八雲小学校に勤務。2002年より島根県立大学松江キャンパス非常勤講師。2012年から、(公社) 全国学校栄養士協議会会長。その他に、(公財) 学校給食研究改善協会理事、食育推進評価専門委員(農林水産省)、島根県学校給食衛生管理指導者を務める。

○農産物直売所かしわで(千葉県)

子ども達に、食べ物への感謝の気持ちや地域の農業を伝えたいという思いから、直売所(かしわで)が調整役となり、市内(柏地区)の学校・幼稚園47校へ柏市特産の米、ネギ、カブ、チンゲン菜を中心に食材納入を行っている。学校は全て自校給食方式で、毎朝6:30から6台の車で配達。しっかり品質の良いものを出荷し、年間20～30品目ほど納入している。栄養士の先生方の要望に応じて、畑訪問の勉強会等もアレンジしている。

○袋井市教育委員会おいしい給食課(静岡県)

市内には3つの共同調理場がある。平成25年度に新設した袋井市立中部学校給食センターでは、1日約5,400食を2献立で提供。メロン、お茶、お米の産地で、野菜栽培の生産者が少ない中、教育委員会が調整役となり、年々使用量・品目を増やしている。保存倉庫の設置、規格外品を活用した一次加工品の作成など、地場産物を積極的に活用している。

○(株)山際食彩工房(福島県)

これまでの給食事業への参入経験を活かし、山際食彩工房が調整役となって、地元老人ホームの給食業務を受託。施設の栄養士と献立を作り、365日80名に3食の食事を提供している。慣れ親しんだ地元野菜の味は入居者にも好評。需要の高い「とろみ食」のレトルト商材の開発も進めている。

7 その他の連絡事項

- (1) 1日目は、昼食を済ませてから会場へお越しください。
- (2) 2日目の現地視察に参加される方は、1日目の研修終了後に、簡単なオリエンテーションを行います。
- (3) 2日目は、かしわで店舗見学と昼食(実費)を含む内容となりますが、やむを得ない場合は、「柏の葉キャンパス駅」(つくばエクスプレス)で下車が出来ます。
- (4) 研修会会場、集合場所までの交通機関、宿泊は、各自でご手配・ご負担ください。
- (5) 解散時刻は目安です。交通機関等は余裕を持ってご予約ください。
- (6) 本研修会に関連するもので、資料の展示や配布等のご希望がある場合は、事務局までご相談ください。
- (7) やむを得ず、プログラムに変更が生じる場合がございますので、ご容赦ください。

—— 地産地消コーディネーター育成研修会 事務局・お問合せ先 ——
 (一財) 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)
 業務第2部 地域活性化チーム
 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5F
 電話: 03-4335-1984 (直通) FAX: 03-5256-5211
 メール: chisan@kouryu.or.jp